

海水浴シーズンで管理棟清掃

新虎興産がウォータージェットで



ウォータージェットで壁面を洗う社員たち（きららビーチ焼野で）

インフラ関係のリサイクル事業に携わる新虎興産（木村高土社長、本社大阪市西区）の山口支店や本社の若手社員による清掃活動がこのほど、きららビーチ焼野で行われた。同社が開発した超高

圧で水を噴射するウォータージェットを使い、管理棟の外壁に付いた汚れを洗い流した。昨年6月に県内初の支店を開設した市内で地域貢献ができればと、海開

き直前に管理棟を清掃。市民らに夏のレジャーをより快適に過ごしてもらえよう汗をかいた。

同社のウォータージェットは超高压水発生ポンプを使い、水だけで鋼材の切断や塗膜の剝離ができる。二酸化炭素の排出を抑え、アスベストなどの有害物質を飛散させないといった環境と安全に配慮した工法として特許を取得。大阪市の道頓堀で落書きを除去したこともあるという。

この日は工事部の4人が作業に当たった。外壁に130メガパスカルの圧力で水を当てると、みるみるうちに黒ずみが落ち、短時間で160平方メートルの壁が本来の色を取り戻した。活動を企画した森田光一郎さん（24）は「深い汚れも落とすことができ、取り組んで良かった」と満足げだった。

荒木龍人山口支店長は「気持ちよく施設を利用できる手伝いをする事で、まちづくりに貢献できれば」と今後の活動にも意欲を示した。（若槻）